

中四医系学生のつどい 第4回 実行委員会in島根

～5月のつどい本番に向けた学習会&事前打ち合わせ～



4月24日(日)、中四医系学生のつどいに向けた第4回実行委員会を松江生協病院で開催しました。島根からは奨学生2名が参加。実行委員会では、本番に向けたスケジュールの確認や当日の内容と動きなどを話し合いました。

午前中のところでは学習会を行い、せいきょうサポートセンター長の門脇さんから「医療と介護の連携～地域の暮らしと地域包括ケア体制～」と題してご講演いただきました。学生からは「地域包括ケアについて話を聞かせていただき、人々の健康な暮らしを支えるシステムとして今後自分たちがよりよいものにしていくにはどうすればいいのか考えるきっかけになった」等、地域包括ケアシステムや地域と連携して行っている医療について理解を深める契機になりました。つどい本番では、この講演も踏まえたうえで、さらにチーム医療や多職種連携について学習して行ってほしいと思います。午後からの会議では、本番に向けて学生からたくさんの意見が出され、当日の動きや内容を学生自身で作りがげることができました。この話し合いで決めた内容で、中四国の医系学生がさらに学びを深め交流することができるつどい当日が楽しみになるような会議になりました。

つどい本番は5月14日～15日に米子で行われます。たくさんの学生に参加してもらえよう、継続して呼びかけをしていきたいと思っています。